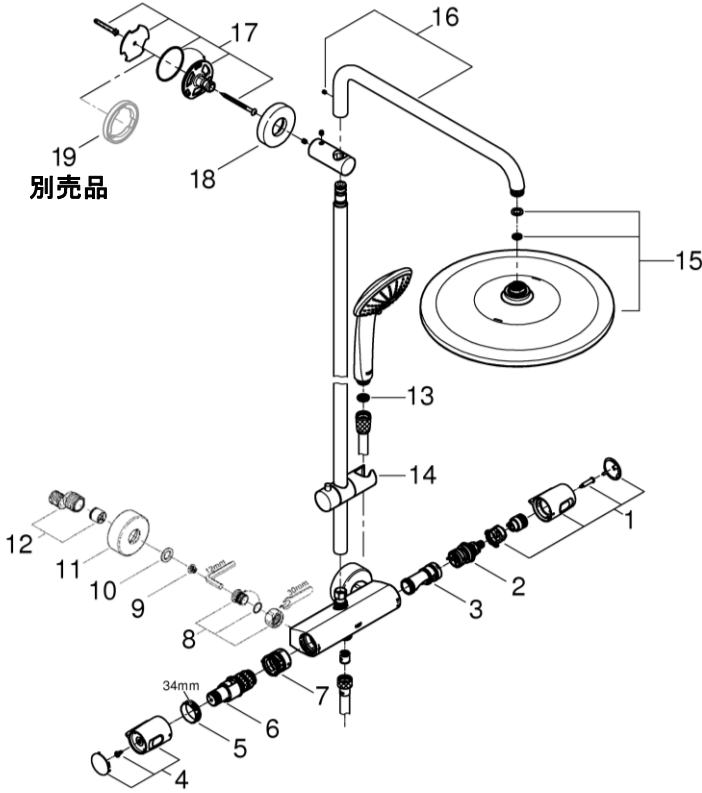


## Euphoria System 310 据付説明書 (お客様にお渡しください)

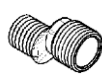


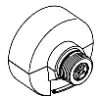
- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工完了後は、この説明書を同梱の取扱説明書とあわせてお客様にお渡しください。



図番	名称
1	開閉ハンドル
2	アクアティマー
3	混合筒
4	温度調整ハンドル
5	固定ナット
6	サーモスタットカートリッジ
7	レース
8	袋ナットセット
9	ストレーナー
10	パッキン
11	フランジ
12	インレット
13	ストレーナー
14	スライドフック
15	ヘッドシャワー
16	アーム
17	金具セット
18	フランジ
19	スパーサーリング (別売品)

### 【水栓取り付け部品(インレット)について】

本製品の取付け部品(インレット)は別売り品を含めて4種類あります。  
必ず現場環境等に合ったインレットをご使用いただき、それぞれの施工方法どおりに施工してください。

<p>標準インレット</p> 	<p>湯水配管ピッチ: 150±25mm</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・逆流防止</li> </ul>	<p>&lt;別売品&gt; ストレーインレット +逆止弁</p> 	<p>湯水配管ピッチ: 150±3mm ユニットバスのアダプターへ接続 ・逆流防止</p>
<p>&lt;別売品&gt; インレット1/2" (偏心寸法±50mm)</p> 	<p>湯水配管ピッチ: 200+50 -120mm</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・逆流防止・止水機能・ストレーナー</li> <li>・水抜栓付(寒冷地仕様のみ)</li> <li>・内圧防止機能付き (室内温度が高温になる浴室乾燥機等ご使用の際にオススメです)</li> </ul> <p>※ご使用の際には別途必要な部材があります。4ページをご確認ください。</p>	<p>&lt;別売品&gt; インレット1/2" (偏心寸法±5mm)</p> 	<p>湯水配管ピッチ: 150±2mm</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・逆流防止・止水機能・ストレーナー</li> <li>・水抜栓付(寒冷地仕様のみ)</li> </ul> <p>※ご使用の際には別途必要な部材があります。5ページをご確認ください。</p>

## 安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### ⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

固定の際は、強度の高い壁面(補強のうら板等)にしっかりと取付けてください。

※器具が落下し、思わぬケガをすることがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

## 使用条件

### ●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.05MPa[0.5kgf/cm<sup>2</sup>](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm<sup>2</sup>](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

やむなく圧力差が生じる場合は最大3:1以内になるようにしてください。

◇給水圧力が0.74MPa[7.5kgf/cm<sup>2</sup>]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

### ●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

### ●給湯に蒸気を使用しないでください。

### ●給湯器からの出湯温度は、使用する温度より10℃以上高くしてください。

## 据付前の注意

### ●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

### ●給水は上水道に接続してください。 ※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

### ●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

### ●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

### ●取付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

### ●本体をのがたつき防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

### ●寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません

### ●浴室乾燥機、スチーム等で室内温度が高温になる場合は、インレット1/2" (偏心寸法±50mm)をご使用ください。

弊社インレット1/2" (偏心寸法±50mm)には内圧防止機能がついているため温度変化による破損を防止することが出来ます。

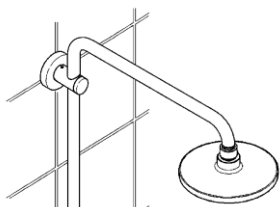
### ●壁面は商品重量に耐えることを確認のうえ、動かないように確実に固定してください。

### ●商品は重量がありますので、商品の落下によるケガにご注意してください。

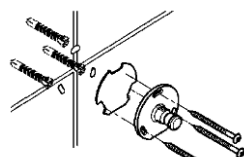
### ●高所での作業は、足場のしっかりした状態で、転落等が発生しないよう考慮してください。

### ●ユニットバスに使用する場合は、壁面の材質を考慮した取付ビスをご用意してください。

#### 壁の破損に注意



#### 取付けビスの注意



ビス・カプラーは  
適宜ユニットバス用に変更  
(別途お買い求めください)

#### ケガや転落等に注意



# 据付準備

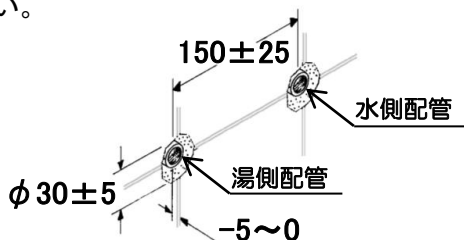
## 1. インレットの取付け

### 注意

- ・本製品の取付け部品(インレット)は4種類あります。必ず現場環境等に合ったインレットをご使用いただき、それぞれの施工方法をご確認のうえ施工してください。
- ・配管位置と取出し穴の寸法は規定寸法を守ってください。壁面に隙間があいたり、本体が取り付けられない場合があります。
- ・インレットのねじ込みは規定寸法を守ってください。壁面に隙間があいたり、本体が取り付けられない場合があります。

### (1) 偏心インレットの取付け

1. 給水・給湯配管の位置と取出し穴の寸法を確認してください。



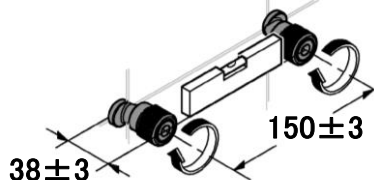
### 注意

配管位置と取出し穴の寸法は規定寸法を守ってください。

2. インレットの配管側ねじ部にシール材(シールテープ等)を巻き付けます。



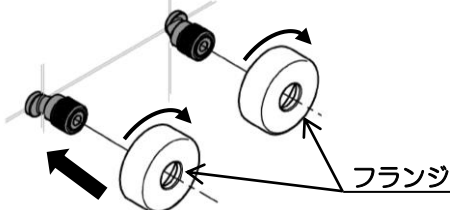
3. 湯水配管ねじ部にインレットをねじ込みます。



### 注意

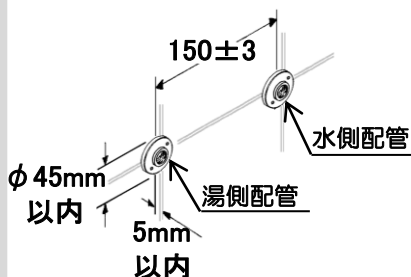
- ・インレットのねじ込みは規定寸法を守ってください。
- ・一度ねじ込んだ取付脚は決して戻し方向には回さないようにしてください。
- ※シール不良となり漏水の原因となります。

4. インレット本体取付ネジ部にフランジを壁面にあたるまで手で右回しにいっぱいまでねじ込みます。



### (2) ストレートインレットの取付け

1. 給水・給湯配管の間隔はあらかじめ中心間の距離で150mmになるように調整してください。



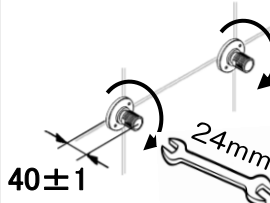
### 注意

配管位置とアダプターの寸法は規定寸法を守ってください。

2. 配管側ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けます。



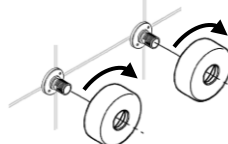
3. インレット胴体部を工具(24mmスパナ)等で湯水配管にねじ込みます。



### 注意

- ・インレットのねじ込みは規定寸法を守ってください。
- ・一度ねじ込んだ取付脚は決して戻し方向には回さないようにしてください。
- ※シール不良となり漏水の原因となります。

4. フランジをインレット本体に取付け、壁面にあたるまで手でねじ込みます。



### 注意

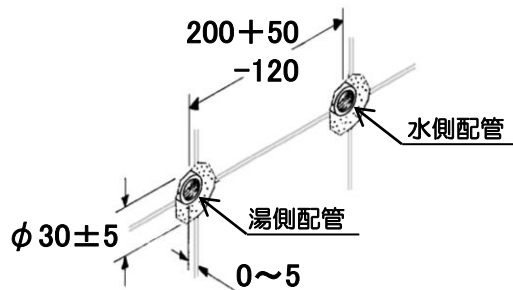
フランジは標準インレットのものを使用するか、同梱、支給されている部材を確認してください。

# 据付準備

## 1. インレットの取付け

### (3) インレット1/2" (偏心寸法±50mm) の取付け

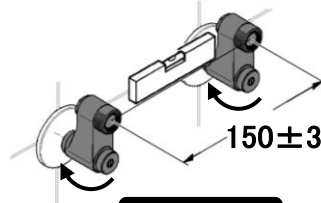
1. 給水・給湯配管の位置と取出し穴の寸法を確認します。



#### 注意

配管位置と取出し穴の寸法は規定寸法を守ってください。

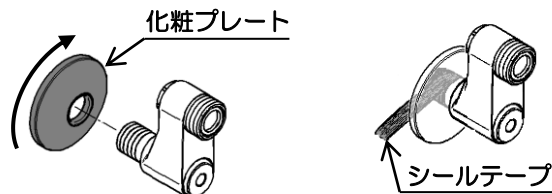
3. インレット先端中心間の距離が150mmになるよう注意しながら、湯水配管ねじ部にインレットをねじ込みます。



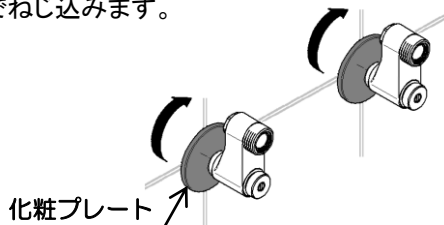
#### 注意

・インレットのねじ込みは規定寸法を守ってください。  
 ・一度ねじ込んだ取付脚は決して戻し方向には回さないようにしてください。  
 ※シール不良となり漏水の原因となります。

2. 配管側のねじ部に化粧プレート（化粧プレート）をねじ込み、配管側ねじ部にシールテープ等のシール材（シールテープ）を巻き付けます。



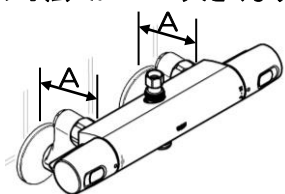
4. 化粧プレート（化粧プレート）を壁面にあたるまで手で右回しにいっぱいまでねじ込みます。



#### 注意

インレット1/2" (偏心寸法±50mm) をご使用の場合、上部固定金具に別売品JPK53900 (延長ブラケット) の取付けが必要です。JPK53900を取付け、壁面からブラケットまでの寸法を約33mm延長する必要があります。

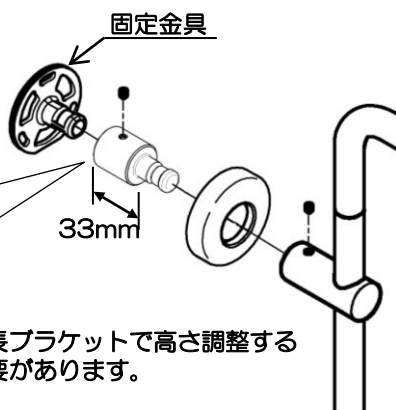
標準インレット使用時よりも図の寸法Aが大きくなります



別売品JPK53900  
延長ブラケット

○ 固定ねじ

延長ブラケット



延長ブラケットで高さ調整する必要があります。

### 別売品JPK53900取付方法

「4. 取り付けの準備（金具取付位置の穴あけ）」の前に、以下の手順で固定金具へ延長ブラケットを取付けておきます。

（それ以降の施工方法は標準仕様と同様です。）

固定ねじ

固定金具

延長ブラケット

固定金具へ延長ブラケットを取付け  
固定ねじで締め付ける

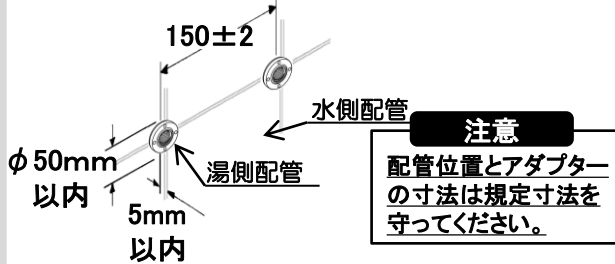


# 据付準備

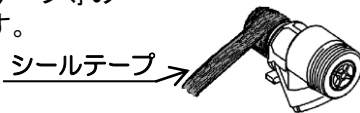
## 1. インレットの取付け

### (4) インレット1/2" (偏心寸法±5mm)

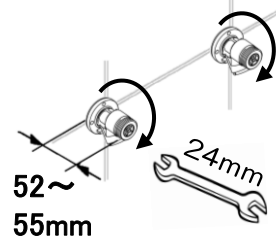
1. 給水・給湯配管の間隔はあらかじめ中心間の距離で150mmになるよう調整してください。



2. 配管側ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けます。



3. インレット胴体部を工具(24mmスパナ)等で湯水配管にねじ込みます。



#### 注意

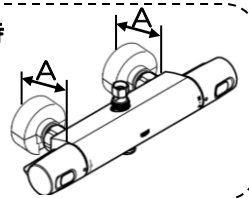
- ・インレットのねじ込みは規定寸法を守ってください。
- ・一度ねじ込んだ取付脚は決して戻し方向には回さないようにしてください。
- ※シール不良となり漏水の原因となります。

#### 注意

インレット1/2" (偏心寸法±5mm) をご使用の場合上部固定金具に別売品27180000(シャワーシステム用スペーサー)の取付けが**必要**です。

27180000を取付け、壁面からブラケットまでの寸法を約8mm延長する必要があります。

標準インレット使用時よりも図の寸法Aが8mm大きくなるためスペーサーの取付けが必要です

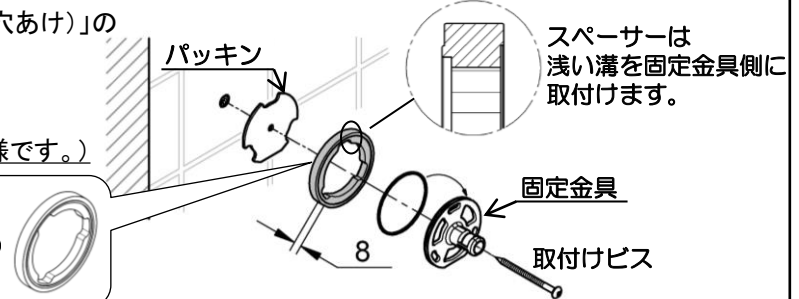


### 別売品27180000取付方法

「4. 取り付けの準備 (金具取付位置の穴あけ)」の「5.【固定金具の取付け】」の際に、右図の手順で固定金具へスペーサーを取付けておきます。  
(それ以降の施工方法は標準仕様と同様です。)

スペーサーで高さ調整する必要があります。

別売品  
27180000  
スペーサー

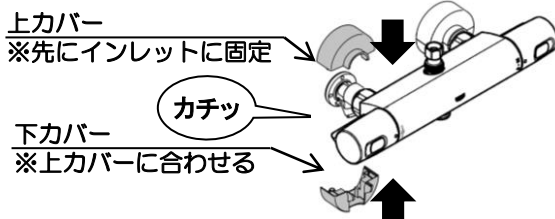


#### 注意

インレット1/2" (偏心寸法±5mm) をご使用の場合、インレット上下カバーが付属しています。水栓本体設置後、以下の手順で取付けてください。

### インレット上下カバー取付方法

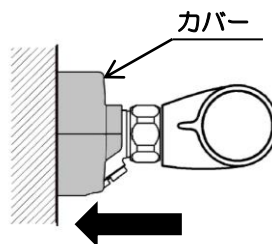
1. 上下のカバーを組み付けます。



#### ポイント

上カバーを取付脚に固定し、位置決めに合わせて下カバーを組み付けてください。  
※カチッとはまることを確認してください。

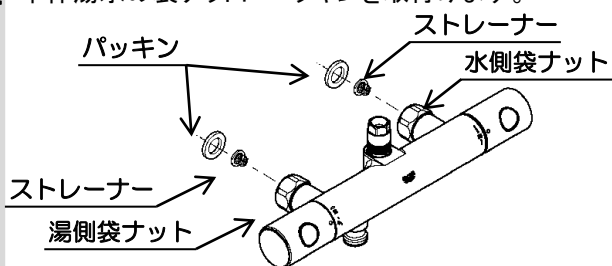
2. カバーを壁に押し当てます。



# 据付準備

## 2. 本体の取付け

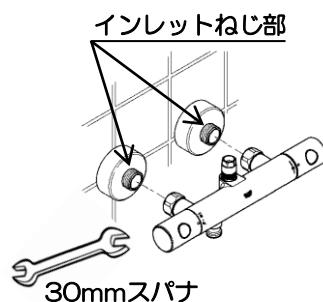
1. 本体湯水の袋ナットにパッキンを取付けます。



2. インレットのネジ部に本体湯水の袋ナットを工具(30mmスパナ)等で交互に少しずつねじ込み締め付けます。

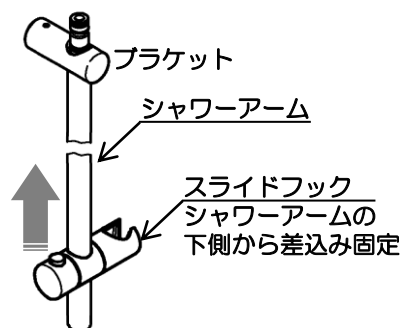
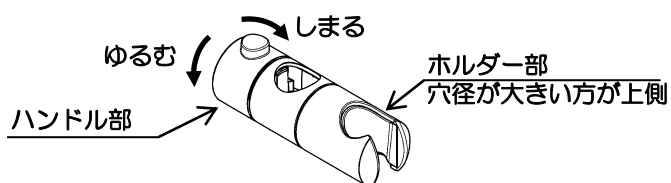
### 注意

締付は、200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。



## 3. スライドフックの取付け

- ①スライドフックのハンドルを左に回し、ゆるめます。
- ②スライドフックの上下を確認します。
- ③シャワーアームの下側から、スライドフックを差し込みます。
- ④スライドフックのハンドルを右に回し、固定します。



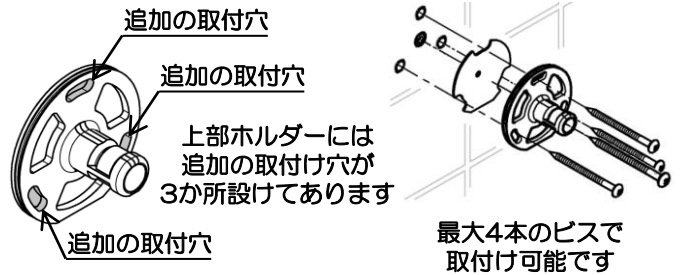
# 据付け手順

【壁の仕様により強度が不足する場合】  
十分な強度を保てるよう現場でご判断のうえ、  
取付けビスを追加してください。

※上部ホルダーの外側の三か所の長穴を取付け穴として  
ご利用ください。

※追加の取付けビスは、市販のビスをご用意ください。  
※取付け穴位置は取付け位置に上部ホルダーをあててケガき、  
位置決めしてください。

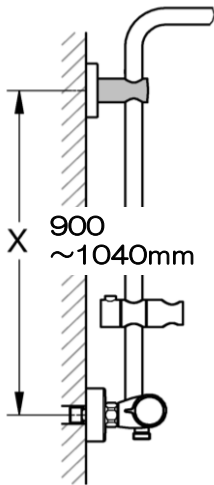
※同梱の取付けビスは木ねじ4.5×75です。  
壁の仕様に合うビスを適宜ご購入ください



## 4. 取り付けの準備（金具取付位置の穴あけ）

### 注意

（ユニットバスの場合は補強の裏板を準備し、  
その位置に取付けてください）



※規定の寸法を厳守してください。  
バーを切ったり、伸ばすことはできません。

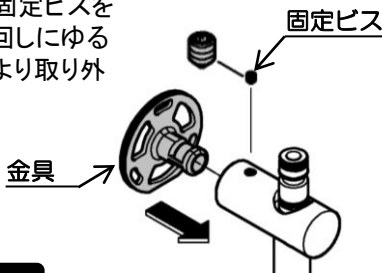
※寸法図を参考にしてけがいた場合も、一度金具を壁に押しつけ、アームを差し込んで取り付くか確認してください。

※取付け位置の目安は上部ホルダーの位置が身長より約30cm上で、取り付けの際に天井と干渉しないよう18cm以上離します。

※下部ホルダー中心と上部ホルダー中心の距離は約900～1040mmの間で調整可能ですが、製造誤差が生じるため、本手順での取付位置確認をしていただくことをお勧めします。

### 1. 【金具の取り外し】

金具を固定している固定ビスを3mm六角レンチで左回しにゆるめ、金具をホルダーより取り外します。



### 注意

※固定ビスを取り外した場合は紛失にお気を付けください。  
※金具、固定ビスが別梱包の場合は箱から取り出してください。

### 2. 【取付の位置決め】

ホルダーセット内部の金具を取り付け位置に押しあて、金具の上の穴中心をエンピツ等でけがきます。



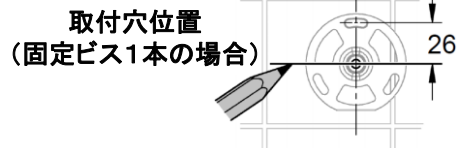
### 注意

取付け位置にウォールバーをあてる等、取付け位置の確認は十分行ってください。

### 3. 【取付穴のけがき】

#### <固定ビス1本の場合>

けがいた26mm真下の位置が、金具の取付け穴位置になります。



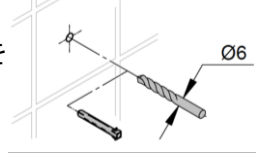
#### <固定ビス3本の場合>

金具の穴中心3か所をエンピツ等でけがきます。この3か所が金具の取付け穴位置になります。



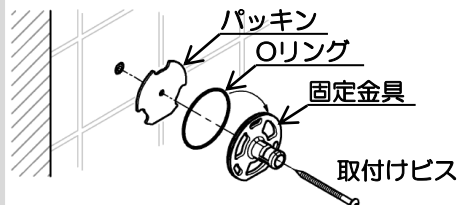
### 4. 【穴あけとカプラー取付け】

取付け位置にドリル等で6mmの穴をあけ、カプラーを完全に差し込みます。



### 5. 【固定金具の取付け】

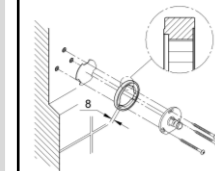
パッキンを取付けた固定金具を、それぞれの取付位置に取付けビスで固定します。



### 注意

※固定金具には上下があります。キリカキを下に向けて使用してください  
※取付けビスは同等品であれば、付属の取付けビス以外でも使用可能です。  
※ユニットバスの場合は、補強の裏板をご使用してください。

### 注意



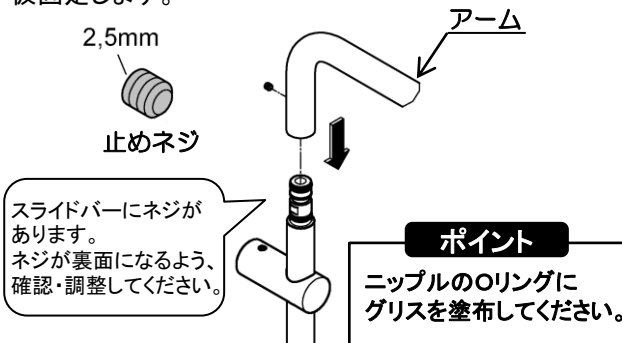
別売品27180000（シャワーシステム用スペーサー）をご使用の場合、固定金具とパッキンの間に取付けてください。

# 据付け手順

## 5. ウォールバーのとアームの位置調整

### 1. 【アームの仮固定】

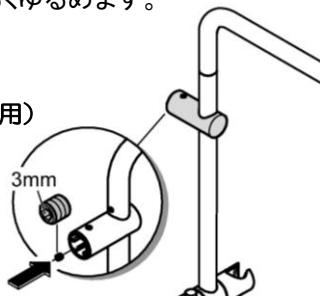
上部ニップルにアームを差し込み、止めビスを  
2. 5mm六角棒レンチで右回しにねじ込んで  
仮固定します。



### 2. 【ブラケットの仮固定】

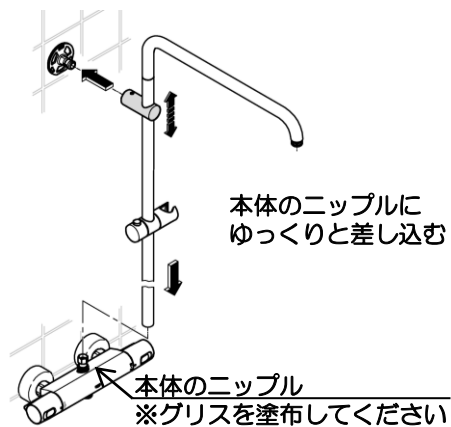
ブラケット固定ビスをかるくゆるめます。

ブラケット固定ビス  
(3mmの六角棒レンチ使用)



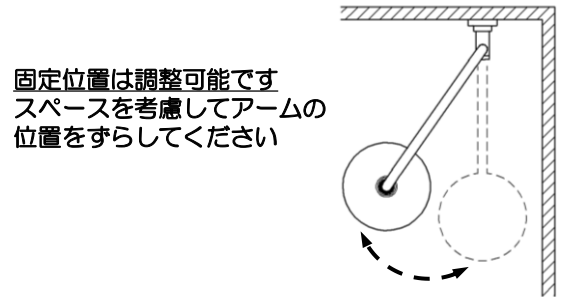
### 3. 【ウォールバーの仮設置と位置確認】

本体のニップルにウォールバーを差し込みます。



### 4. 【アームの角度調整と固定】

アームの固定位置は任意に選択が可能です。  
壁、水栓金具などの位置関係によって、快適な空間  
ができるようアームの固定位置を調整してください。



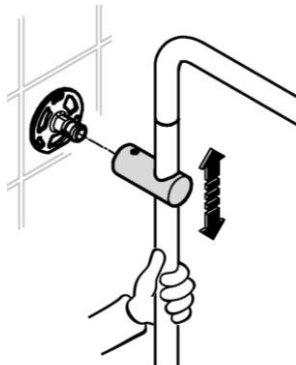
固定位置は調整可能です  
スペースを考慮してアームの  
位置をずらしてください

#### 注意

アームの止めビス固定後は、アームを動かさないよう  
にしてください。  
※固定後に動かすと破損するおそれがあります。

### 5. 【上部ホルダーの位置調整】

ウォールバーを手で押さえ、上部ホルダーを上下に  
動かして調整し、固定ビスを締めて固定します。



#### 注意

上部ホルダーが動かし  
にくい場合、ブラケットの  
固定ビスをゆるめてくだ  
さい。

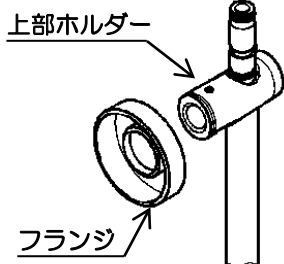




# 据付け手順

## 6. 上部フランジの準備

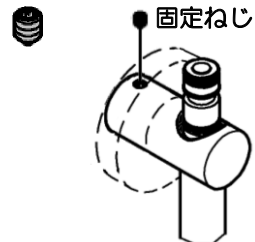
1. 上部ホルダーにフランジ  
(くりぬき面を壁側)を  
差し込みます。



### ポイント

フランジが差し込みにくい場合は、ホルダーのリングにグリスを塗ってください。

2. 固定ビスをホルダーに仮止めします。  
(3mm六角レンチを  
ご使用ください)

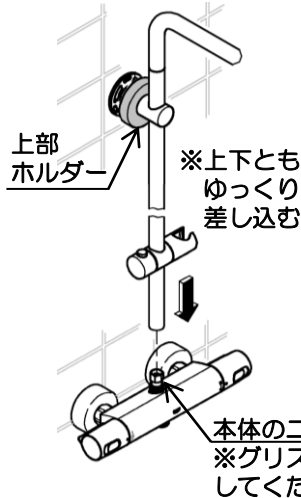


### 注意

固定ビスの紛失にお気をつけください

## 7. スライドバーとフランジの固定

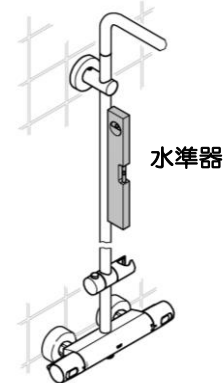
1. 本体のニップルにウォールバーを差し込み、上部金具に上部ホルダーをゆっくり差し込みます。



### 注意

スライドバーが差し込みにくい場合は、下部ホルダーの固定ビスをゆるめ、上下のホルダーを同時にゆっくり差し込んでください。また、金具の固定位置を確認してください。

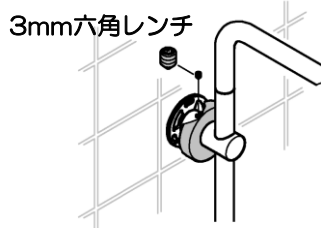
2. 水準器を使用してスライドバーが垂直に取付けられていることを確認します。



### 注意

差し込んだスライドバーが垂直でない場合は、金具の取付けビスをゆるめ、固定位置を調整してください。

3. 上部ホルダーの固定ビスを3mm六角レンチで右回しにねじ込んでしっかりと固定します。



4. フランジを壁面にあたるまで手でしっかりと押し込んでください。



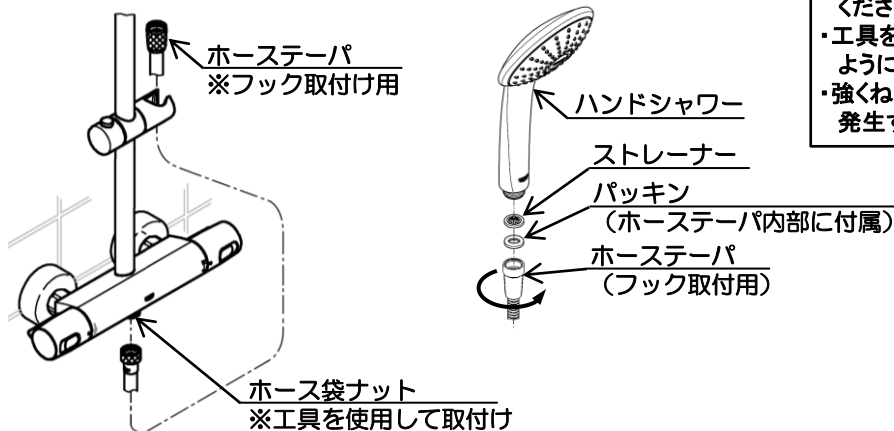
### 注意

※フランジのグラつきや壁(床)内部へ水の浸入の恐れがある場合は、コーキング等シール材を使用してください。  
※フランジの若干のガタつきは構造上発生します。固定したい場合はフランジのふちにコーキング等を使用してください。

# 据付け手順

## 8. シャワーとホースの接続

1. 図のとおり、シャワーとホース、ハンドシャワーを接続します。

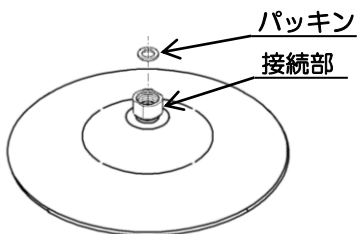


### 注意

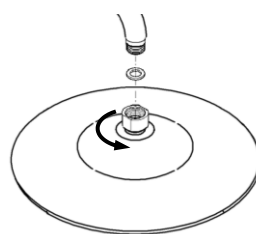
- ・ホースにパッキンが付属しているか確認してください。
- ・工具を使用する時は袋ナットが傷つかないように注意してください。
- ・強くねじ込み過ぎると、パッキンの割れ等が発生する場合があります。

## 9. ヘッドシャワーの取付け

1. ヘッドシャワーの接続部にファイバーパッキンをはめ込みます。



2. アームを固定し、ヘッドシャワーを工具(例17mmスパナ)で右回しにねじ込んだ後、落下防止固定ビスを2mm六角レンチで固定します。



### 注意

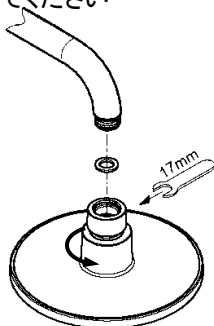
- ・締め付けは200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締め付けが弱いと漏水、落下等の原因になります。
- ・商品の落下、足場の確保等、ケガのないよう作業を行ってください。
- ・接続ねじ径はG1/2です。

別売りのヘッドシャワーをご使用の場合は機種等により接続方法が異なります。別途説明書をご覧ください。

【固定ビスが無い機種をご使用の場合】  
アームを固定し、ヘッドシャワーを工具(17mmスパナ)で右回しにねじ込んで締め付けてください

### 注意

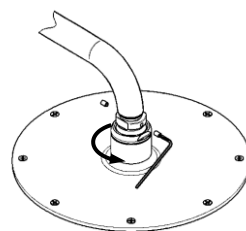
- ・締め付けは200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締め付けが弱いと漏水、落下等の原因になります。
- ・商品の落下、足場の確保等、ケガのないよう作業を行ってください。
- ・接続ねじ径はG1/2です。



【固定ビス付き機種をご使用の場合】  
アームにヘッドシャワーを取付けたあと、固定ビスを2mm六角レンチで右回しにねじ込み固定します。

### 注意

- ・締め付けは、20~30kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締め付けが弱いと漏水、落下等の原因になります。

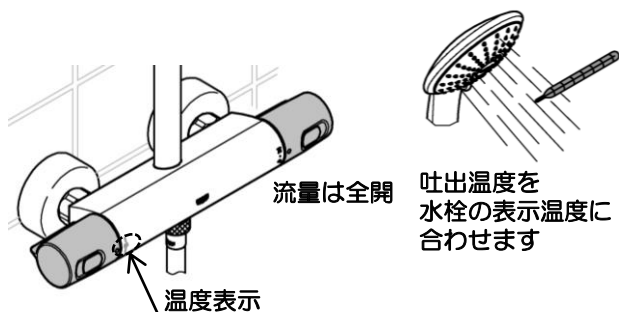


# 施工手順

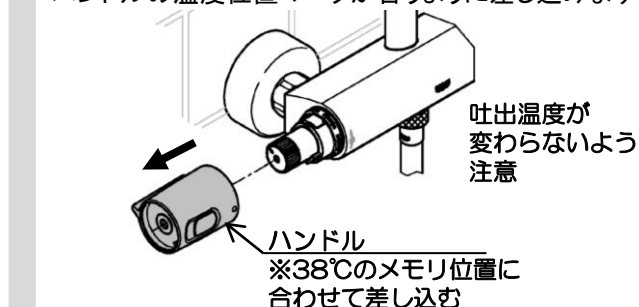
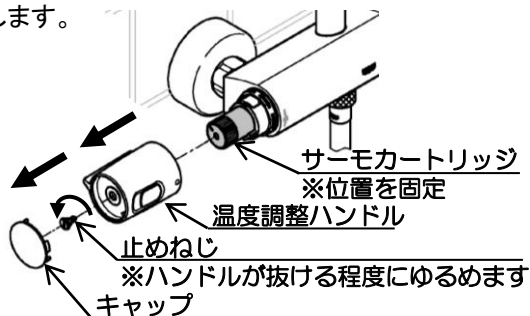
## 10. 温度設定の調整

吐出温度と温度調整ハンドルの数字が合わないときは、以下の方法で温度設定を調整してください

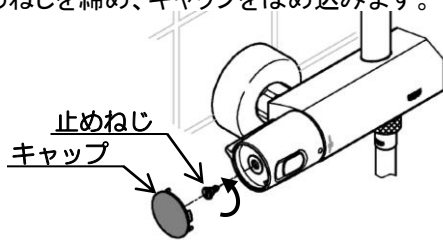
1. 開閉ハンドルを全開し、温度調整ハンドルを温度目盛に  
関係なく、水栓に表示の温度(38℃もしくは42℃)の  
温度が得られる位置まで回します。
3. 水栓本体の温度目盛(38℃もしくは42℃)と温度調整  
ハンドルの温度位置マークが合うように差し込みます。



2. 温度調整ハンドルが回らないよう位置決めし、キャップを  
取外し、止めねじをゆるめて温度調整ハンドルを  
取り外します。



4. 温度調整ハンドルが回らないようしっかり固定しながら  
止めねじを締め、キャップをはめ込みます。



### 注意

- 適温が得られない場合は以下の原因が考えられます。
- 熱湯と水にしかならない ⇒ 逆配管である ⇒ サーモスタートのごみづまり
  - 適温からすぐ水になる ⇒ 水圧が異常に高すぎる

## 取付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

### 1. 接続部の水漏れ

吐水・止水を数回くりかえした後、以下の箇所を点検します。

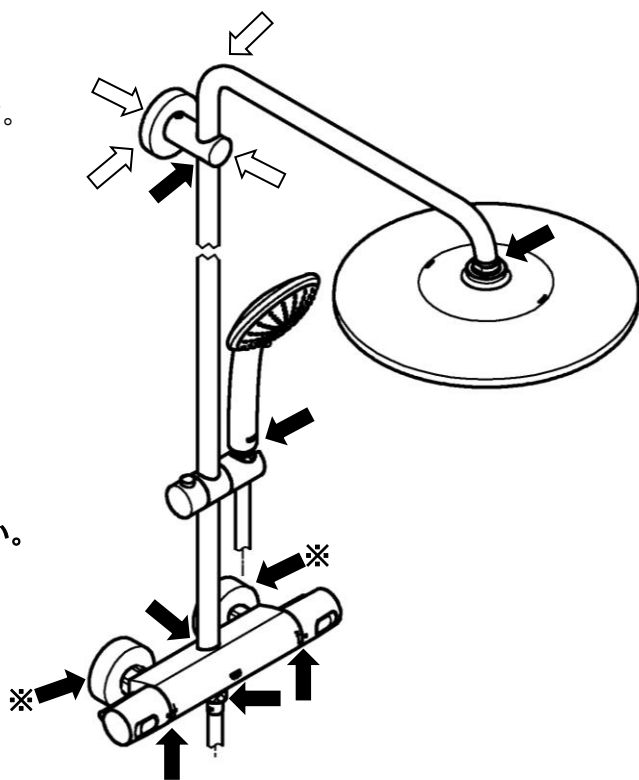
- 給湯管、給水管とインレットの接続部。
- インレットと本体の接続部。
- 本体と温度調整ハンドルの接続部。
- 本体と開閉切換ハンドルの接続部。
- 本体とホースの接続部。
- ホースとハンドシャワーの接続部。
- 本体とニップルの接続部。
- ニップルとバーの接続部。
- バーとアームの接続部。
- アームとヘッドシャワーの接続部

※特に、この部分は通水後漏水のない事を必ず確認し、  
万が一漏水が確認された場合パッキンを新品に  
取り替えた上、再度規定のトルクで締付を行ってください。

### 2. 固定部のゆるみ

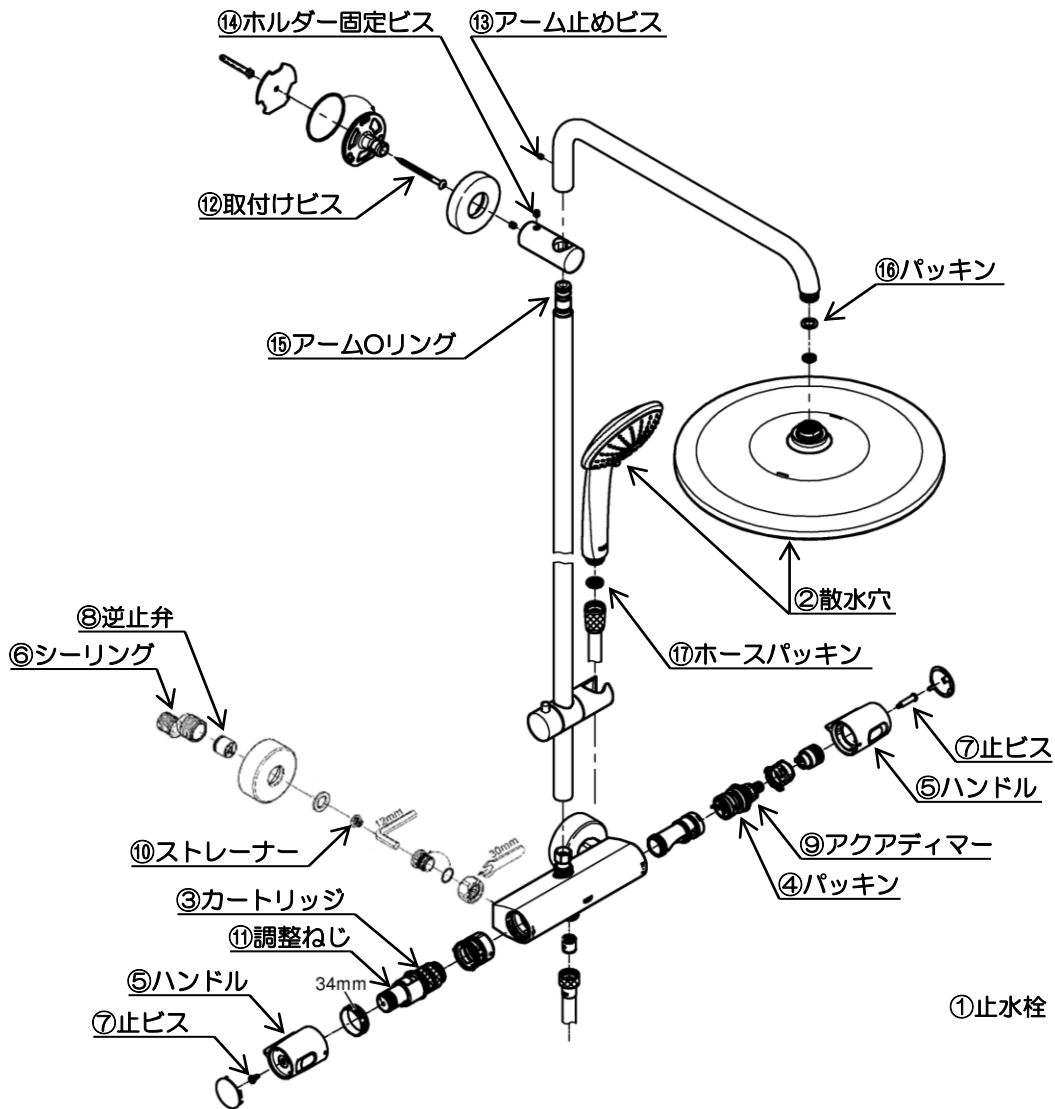
以下の箇所を点検します。

- 壁と金具の固定部。
- 金具とホルダーの固定部。
- ホルダーとバーの固定部。
- バーとアームの固定部。



# 故障と点検

製品設置後に不具合が生じた際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



現象	点検箇所	点検内容
吐水量が少ない	①	全開されていますか？圧力は十分ですか？
	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	破損・ゴミかみはありませんか？
水が止まらない	④ ⑤	破損・ゴミかみはありませんか？
温度不良	①	全開されていますか？圧力は十分ですか？
	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	破損・ゴミかみはありませんか？
	⑪	正しく調整されていますか？
ハンドルがガタつく	⑤ ⑦	正しく取付けられていますか？
壁面より漏水する	⑥	正しく取付けられていますか？
シャワーに切替わらない	⑨	破損・ゴミかみはありませんか？
バーがガタつく	⑫	・正しく取付けられていますか？ ・ねじの本数は適切ですか？
アームがガタつく	⑬	締付けは十分ですか？
ホルダーがガタつく	⑭	締付けは十分ですか？
バーから漏水する	⑮	破損・ゴミかみはありませんか？
ヘッドから漏水する	⑯	正しく取付けられていますか？
ホースから漏水する	⑰	締付けは十分ですか？
散水が頭に当たらない	⑱	アームが適切に位置調整されていますか？

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>